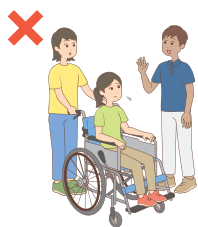


コミュニケーションの際のポイント!

本人と話す

車いすユーザーが家族や同伴者と一緒にいる場面で、車いす席や多目的トイレ、エレベーターなどへ案内する際に、車いすユーザー本人に話かけないで、同伴者に話しかける光景が見られます。必ず本人に話かけましょう。



目線の高さ

車いすユーザーに立ったまま話しかけると、相手を見下ろす形になり、威圧感を感じる場合があります。同じ目線の高さを心がけましょう。



案内時の周囲への声かけ

サポートをする方が、安全を考慮し、「どいてください!」「すみません、通ります!」と、大声で周りに伝えていた場面が見られます。このようなとき、サポートされる側は、「肩身がせまい」「恐縮する」と感じることも少なくありません。車いすユーザーの気持ちに配慮しましょう。



もっと知っておきたいポイント!

子ども用車いす (バギー型)

子ども用車いすは、ベビーカーだと勘違いされやすく、電車や店内等で混雑しているときに、「邪魔だから畳んでほしい」と言われてしまう場合があります。見かけたら、なにかサポートできることがないか声をかけてみましょう。



ボランティアガイド

～車いすユーザーサポート編～

ボランティアの現場で共に活動する仲間や来場者の中には車いすを使用されている方もいます。車いすユーザーをサポートするときに役立つアドバイスをまとめました!

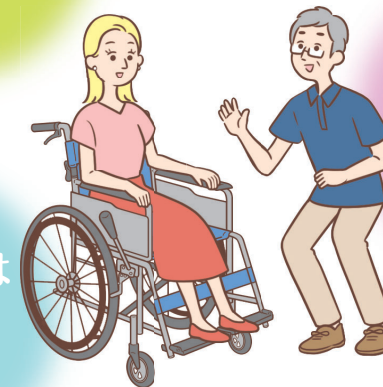
サポートの基本

笑顔で
お声がけ

ボランティアの〇〇です!
何かお手伝いできることは
ありますか?

動き出しは
ひと声
かけて

必要な
サポートを
お伺いする



サポートするときのポイント

1 動き出しはひと声かける

2 周囲に注意し、ゆっくり進む

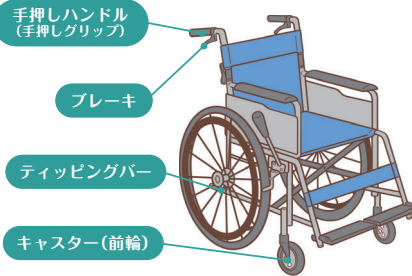
3 止まる時・曲がる時、ひと声かける

4 離れるときはブレーキをかける



車いす

車いすには、自走用、介助用、電動式など、さまざまなタイプがあります。サポート方法も、車いすのタイプによって異なるので、サポート方法は、必ず車いすユーザー本人に確認しましょう。



シーン1 段差を上るとき



①ひと声かけて、キャスターを上げる。
②キャスターを段の上に乗せる。
③後輪をゆっくり押し上げる。

! 段差の前では必ずストップ!!
小さな段差でも、引っかけると落車することがあります。

シーン2 段差を下るとき



①ひと声かけて、後ろ向きになる。
②後輪からゆっくり下ろす。
③キャスターを上げ、ゆっくり後退する。
④キャスターを下ろす。

シーン3 坂道を上るとき



からだを少し前傾して押し上げる。

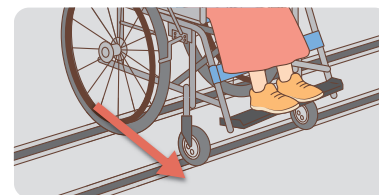
シーン4 坂道を下るとき



後ろ向きになり、後方の障害物に注意して下りる。

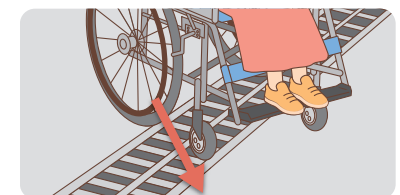
! 前向きで下りちゃダメ!!
前から下りると、車いすユーザーが前に倒れてしまうことがあります。

シーン5 溝を通るとき



溝に対して垂直にアプローチします。

シーン6 側溝を通るとき



側溝に車輪がはまらないように、斜めにアプローチします。

相手の方とコミュニケーションを取りながらサポートすることが大切です